

受け継がれたカラー数値管理 業務効率化への新しい取り組み

原多印刷株式会社 代表取締役 原多 鈴乃(東支部)



上村総監督



代表取締役 原多鈴乃

原多印刷株式会社はデザインから印刷、製本まで一貫して手掛ける印刷会社です。昭和33年に大阪市都島区で創業しモノクロ印刷をメインにしていた。平成13年、大阪市北区へ移転しモノクロ印刷からカラー印刷がメインになりました。同時に標準印刷・カラー数値管理の取り組みを行いました。毎月、講師を迎え印刷の原理・原則の勉強会を行い、徹底したカラー数値管理印刷を可能にしました。

人ではなく、カラーを数値化（インク濃度、ドットゲイン、グレーバランスLAB）することにより、いつ誰が印刷しても常に安定した高品質の印刷物を生産することが可能となりました。

カラー数値管理を行うために必要なことは、印刷機のメンテナンスで、ベストの状態を保つのは大変なことで、機械の状態を把握し異常に気づいた時に、どれだけ早く対応できるかと、気になる所のローラー調整は後回しにせずすぐに対応するなど、メンテナンスの日を決めてはいますが、その都度、調整しながらの印刷業務を心掛けています。メンテナンスができていない印刷機ほど湿し水が絞れ、色出しの速さや色の安定につながります。

今の印刷業界での人材不足につぎまして、オートメーション化や優れた機械の発達が進むなか、それらの機械を操作するのはやはり人であり、その印刷物が、最適な印刷物なのか？の判断と機械の色設定ができるのは、印刷技術者と色管理者であり、印刷についての原理・原則を理解することが必要不可欠です。

セミナーの開催

日本アグフア・ゲバルト株式会社と共同で、『速乾印刷・カラー数値管理』をテーマにしたセミナーも数回行い、印刷実演を含め数値管理技術を披露し、印刷会社・デザイナー会社など幅広い業種の方々に参加いただき超満員で盛況でした。今後も続けて開催してまいりますので、ご興味がおありでしたらぜひご連絡いただければ幸いです。

高精細印刷で営業活動

新規営業活動において、印刷物の付加価値がテーマになってきているなかで、目新しい物を作ればインパクトはあります。が、しかしコストの問題が発生してしまいます。高精細印刷は技術



営業 武田プリンティングディレクター

力でコストをかけずに今までとはひと味違う印刷物を作り、展示会などで紹介しています。見た目の違いが大きく出て、思ったよりも効果的で、新規営業活動での実績も出てきています。日本アグフア・ゲバルト株式会社のスプリマ240線、280線、340線まで対応しています。

新しい取り組み

平成26年に日本アグフア・ゲバルト株式会社アポジーを導入し、面付け作業などの効率化を実現し、令和元年8月にプリプレスとのさらなる効率化を目指し、クラウドストレージサービス「Apogee Drive(アポジードライブ)」を導入。



社内の様子

新しいサービスへの挑戦

営業がデータを受け取る作業は、本来の営業活動への負担にもなるため、入稿データの受け取りを効率化できないかと模索。また入稿から版出力までの時間短縮を目指したが導入を決定した理由の一つでした。

手間のかかる入稿データの処理

導入以前、入稿方法は多岐に渡っていました。クライアントによって入稿方法が異なり、メールや無料のファイル転送サービス、あるいは営業がメディアを受け取るなど、入稿データの処理や管理に手間がかかっていました。また、入稿データのダウンロードには時間と手間がかかります。営業がデータを受け取る場合には、社内に戻る時間が分らないことも多く、その後の作業が遅れることも。

導入後の効果

運用開始後、アポジー・ドライブを利用するクライアントは1カ月で20社を超えました。導入にあたって特に苦労した点はなかったといいます。データを受け取るタイミングは早くなり、

営業待ちでDTP作業が進まないということもなくなりました。ダウンロード時間も削減されたことで、入稿から版出力までの時間は短くなり、入稿データ処理の効率化は、働き方改革にも効果を発揮していることがわかります。

校正作業でも活用

入稿データだけでなく、制作データのやり取りにも活用しています。今までメールで行っていた校正のやりとりもアポジー・ドライブを活用することでレスポンスが向上。データがアップロードされると自動的に通知メールが送られるため、わざわざメールや電話での連絡も不要となりました。

アポジー連携による更なる効率化

アポジーとアポジー・ドライブの連携運用をスタートしました。この連携によって、アポジー・ドライブにアップロードされたデータが自動的にアポジーへ送られ、処理されることが可能となります。現在、一部のジョブは、アポジー・ドライブにアップロードされると、自動で面付け、プ



CTP 和田課長

ルフ出力、RIPが行われています。これにより、データ確認後の作業も効率も大幅に向上しました。この連携運用が今後さらに進むことで、自動化の範囲が広がり、大きな効果を生むでしょう。



印刷オペレーター 犬伏課長

■企業データ
社名：原多印刷株式会社
本社：〒531-0061
大阪市北区長柄西1丁目7番43号
電話06-6882-3555
FAX06-6882-3545
創業：1958年(昭和33年)
資本金：3,000万円
代表者：代表取締役 原多鈴乃
URL: <https://www.hrt.co.jp>